

(別表2)

提案評価採点表

委員氏名	
------	--

評価項目	評価基準	配点	【企業名】			係数	採点		
			評価 (○で囲んでください)						
			低	← 標準 →	高				
事業実施主体の 適格性	・業務の実施において的確かつ迅速・柔軟に対応できる体制が備わっているか	10	1	2	3	4	5	×2	
	・実施方針等に具体性(実用的なハンドブックが作成可能となるプロセスの記載など)があり、実現可能なものになっているか ・合理的で具体的なスケジュールとなっているか	10	1	2	3	4	5	×2	
	・業務を受託するに相応しい類似業務 [*] の受注実績があるか <small>※国・地方公共団体が発注する本案件と同種又はそれらに類する作成業務(企画・構成に携わったもので、印刷のみは除く)並びに地方公共団体が発注する景観法に基づく景観計画の策定・改定・見直しに関する業務(いずれの業務も過去10年)</small>	5	有(県内業務) : 5 有(国・県外業務) : 3 無 : 1			×1			
ハンドブック 内容	○景観に対する意識の醸成 ・景観に関する理解が深まる提案となっているか ・本県の景観の特徴や魅力が伝わる提案となっているか	20	1	2	3	4	5	×4	
	○主体的な取組の促進 ・県民の景観形成に対する主体的な取り組みを促す提案となっているか	20	1	2	3	4	5	×4	
	○デザイン ・様々な世代にとって親しみやすく、興味が湧き、かつ、読みやすいデザインとして提案されているか	15	1	2	3	4	5	×3	
	○活用のしやすさ ・様々な学びの場(景観シンポジウムや生涯学習等)で活用できる、かつ、活用しやすい提案となっているか。	10	1	2	3	4	5	×2	
創意工夫	・上記評価基準以外で、ハンドブックとしての完成度を高める工夫や項目の提案がされているか。	10	1	2	3	4	5	×2	
総得点		100				合計			

評価区分	評価基準
5	審査項目に対する具体的な提案があり、特に優れている
4	審査項目に対する具体的な提案があり、優れている
3	審査項目に対する具体的な提案があり、標準的である
2	審査項目に対する具体的な提案があり、標準より劣っている
1	審査項目に対する具体的な提案がない